

放課後等デイサービス自己評価表(ガイドライン・事業者)
みたけ学園児童デイサービスセンターくれよん

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練質スペースとの関係で適切であるか	○			基準を満たしており、個室は使用目的に応じて使うことができている
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児童発達支援管理責任者1名 児童指導員・保育士2名以上配置のところで、現時点児童指導員1名、保育士3人の配置である
	③	事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		バリアフリーにはなっていないが、室内に段差はなく、玄関口には手すりがあり、介助に気を付けている
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員会議を始め、日々の業務の中で随時振り返りを行い、全職員が意見を出し合うように努めている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか。	○			保護者を対象としたガイドラインの評価表を年2回実施し、意向等を確認しながら結果を業務に活かしていく
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等に公開しているか	○			くれよんだよりやホームページに公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は受けていない
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修へ積極的に参加し、みたけグループ内の職場研修に最低3回は参加している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年1回はアセスメントを行い、子どもや保護者のニーズ等を確認しながら、サービス計画の作成を行っている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		他事業所のものを参考にしながら検討していく
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			事業所会議で毎月話し合っ決めていく。
	⑫	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	○			様々な活動ができるよう、事業所会議で職員が案を出して検討している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇でなければできない内容を立案し、実施している

適切な支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		それぞれの児童の状況や課題に合わせて個別活動や集団活動を組み合わせている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		出勤後、その日の活動や留意事項を中心に、支援内容や役割分担の打ち合わせを行っている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		毎日終礼を行い、その日の振り返りを行って、気づいたこと等を情報共有している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々、個別の支援記録を作成して支援の振り返りにつなげている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定められた期間でモニタリングを行い、計画の見直しを行っている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○		様々な活動を組み合わせて、偏りがでないようにしている
関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議その子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか		○	サービス担当者会議が開かれる場合は児童管が参加している
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		下校時、担任の先生と情報交換を行っている。また、緊急時や送迎時間の変更がある場合には、速やかに連絡している
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、医療ケアが必要な子どもは利用していない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	情報が不十分な場合は、家庭や相談支援に確認を行いながら進めている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	個人情報の取扱いについて保護者からの了承を得ており、要請があれば提供できるようにしている
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		県立療育センター発達障がい支援係長等に相談し、助言を受けている

関係機関や保護者との連携	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後の検討課題である
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			開催時には出席している
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や保護者が迎えに来た際に、情報交換を行い、共通理解に努めている
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	職員がペアレントトレーニング等の研修に参加し、技術の習得に努めている
保護者への説明責任等	③⑩	運営規定・支援の内容・利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約の際、重要事項説明書に沿って説明を行い、随時サービス内容については説明を行っている
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			サロン事業を開催し、その都度相談に応じ、必要な専門機関等につなげるようにしている
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会は組織化されていない 保護者交流会(サロン事業)を実施し、連携を図っている
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決のシステムがあり、相談が寄せられた場合は迅速に対応している
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、くれよんだよりを発行し、子供たちの活動の様子や行事等の情報を発信している
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取扱いについて、法人内に規定があり、遵守するよう対応している
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			伝え方について、職員間で統一した対応をしている
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	近隣の高齢者ディサービスを訪問したりし始めている

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルは策定しているが、防犯マニュアルは本体施設グループのマニュアルであり、今後事業所のマニュアルの整備を図っていく。また、保護者への周知は事業所だより等を通じて発信できるようにしていく
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	○			年間防災訓練計画に基づき、毎月避難訓練を行っている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修の他、みたけグループで行う職場研修に参加し、虐待防止に取り組んでいる
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか				みたけグループ身体拘束に関するガイドラインを新たに作成し、それに基づいて対応することとなっている
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			対象となる児童については、保護者から情報をいただき、対応をしている
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			インシデント・アクシデントレポートを作成し、事業所内で共有している